

埼玉県勤労者山岳連盟

第18回遭難防止・安全教育担当者会議 報告

「遭難防止・安全教育担当者会議」は皆様のご協力により終了致しました。
また県連盟の諸活動への御協力に感謝申し上げます。

日 時・2014年6月22日（日）午前9時30分受付
10時開催、11時30分閉会

場 所・高鼻コミュニティセンター 大会議室

参加団体・あすなろ山岳会、大宮勤労者山岳会、北本山の会、上福岡山なみハイキングクラブ、所沢ハイキングクラブ、日進山岳会、新座山の会、ハイジアルペンクラブ、飯能勤労者山岳会、パル・ブランチ、富士見市山の会、深谷こまくさ山の会、山遊会ビスターリ、日和田アルパインクラブ、三郷山の会、埜歩歩富士見山の会、わらび山の会、
(17団体) 出席者・23名

日本山岳レスキュー協議会 事務局長
埼玉県勤労者山岳連盟 救助隊隊長
アドバイザー 柴山 利幸

議 題

1)・事故事例と対策（詳細は別紙）

実際に起きた死亡事故、二事例をもとに

登山計画の変更、道迷いから滑落、通信手段の有無、装備（低体温症・過労凍死）

2)・緊急避難時の対応（ツェルトの必要性）

負の連鎖とは、早めのビバーク、知識と技術の習得

3)・ヒヤリ・ハット報告

※・内容の詳細はハイジアルペンクラブ木阪 康弘氏の記録と致します。

担当者 若木 由和